山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行所
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023（642）2838
FAX 023（642）2839
購読料 〒共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第492号

11月号 TOPICS

2面…マイナンバーカードでの資格確認
3面…新型コロナ検査の取扱い
4面…歯科レセプト摘要欄記載
5面…日本の城郭
6面…気になるワインの話

東北6県経営税務共同アンケート
税務調査
帳簿等の持ち帰り7割超

山形県保険医協会は東北6県の協会（東北ブロック）と合同で「東北6県経営税務共同アンケート」を実施した。アンケートは今年で28回目となり、毎年経営状況や税務行政への意見などを尋ねていたが、今年は新型コロナウイルスの影響による経営状況アンケートを4月と5月に行ったため、経営状況については省略し、税務行政に対する意見と、実際に税務調査を受けた会員へ特化した設問とした。

「過去1年間に税務調査を受けた」との回答は山形3名（医科2名、歯科1名）、東北全体では18名（医科8名、歯科10名）であった。以下東北6県分のアンケート集計内容を抜粋し報告する。

事前通知

税務調査の事前通知について、何日前に通知があったかとの設問では、「14日～1カ月前」が回答者の50％と最も多く、次いで「1カ月以上前」30％、「7日～13日前」10％であった。税務調査の事前通知について東北ブロックは、医療の特殊性を考慮し「1カ月以上前に書面での通知が必要」と仙台国税局へ訴えてきたが、対応に変化は見られない。

税務調査の目的は何であったかを尋ねた設問（複数回答）では、「経理・記帳内容の確認」が67％と多くを占めたが、「何年も行っていないから」17％、「目的を答えず」11％、「調査しないとわからない」6％となり、調査税目や、調査の目的が不明確なまま税務調査が行われている。税務調査を受ける場合は資料の準備や調査官への対応など、多くの時間を割く必要があり、診療も滞りかねない。調査税目を明示するなど、納税者に対して調査の目的をしっかりと説明すべきである。

カルテ

カルテの提出を求められたかとの設問では、およそ9割は「求められなかった」との回答だったが、およそ1割が「求められた」と回答。求められたとの回答はすべて歯科であった。

カルテについては、医師・歯科医師に課せられた守秘義務を尊重し提示・提出を求めないよう国税局へ要請をしているが、依然としてカルテ提出を求めていることが分かった。

帳簿等の持ち帰り

帳簿等の持ち帰りを尋ねた設問では、「原本を持ち帰った」28％、「コピーを取り持ち帰った」が44％という結果であった。税務調査は現場での質問調査が原則だが、持ち帰りが7割を超え、原則から逸脱している。持ち帰ったのは「帳簿」50％、「領収証、伝票」33％、「通帳」17％。その他では「交付金の通知書」「生命保険証書」「給与支払明細書」などの回答もあった。持ち帰りを承諾した理由では「効率的に税務調査が進むと思った」が44％、「税理士が持ち帰らせた方が良いと勧めた」28％となったが、「税務署員より（提出がないと）調査が長引くと言われた」との回答が11％あった。「調査が長引く」との説明は納税者への心理的不安を煽ることにもなり、看過できない。

税務調査に寄せられた意見

税務調査時の調査官について「税務調査の対象医療機関に対し、十分に紳士的な態度で接していただきたい」「納税者、徴税者は対等な立場で接すべきと考えています」などの意見が寄せられた。このような意見が寄せられた背景には、税務署員より威圧的な態度や言動があったように推測される。そのほかにも「十分な期間を配慮した事前通知をお願いしたい」「事前の資料などについてはできるだけ早めに連絡がほしい。2カ月前でもいい」などの意見が寄せられている。

アンケートの結果は、11月末に予定されている仙台国税局への要請において貴重な意見として反映され、税務行政の改善を要請する。

2020年東北6県経営税務共同アンケート 実施概要（県内分）

- 調査期間：8月18日（火）～8月28日（金）
- 対象機関：県内医科・歯科開業医会員698医療機関
- 調査方法：アンケート用紙をFAXにて対象機関へ送付
- 調査事項：税務行政に関する意見及び過去1年間に税務調査を受けた場合は内容を調査

経営税務アンケートに寄せられた税務行政への意見（東北6県分 一部抜粋）

- 消費税負担につき根本的問題が有ると思われる
- 助成金などによる給付とともに、税金の免除の対策がシンプルかつわかりやすいと、負担や作業が少なくて済む
- 医療に必要な購入物品には消費税を支払っていますが、診療上の消費税損税に対して是正していただきたい
- 納税者、徴税者は対等な立場で接するべきと考えています
- 対象医療機関に対し、十分に紳士的な態度で接していただきたいと思います
- 十分な期間を配慮した事前通知をお願いしたい
- （調査の）資料についてはできるだけ早めに連絡願いたい。2か月前でもいい
- 開業後10年、25年目（今回）と2回調査あり。調査される選択の基準が不明。まったく調査されない医院も多数あり不公平
- 原発事故による避難指示が出された被災地において、診療を再開したが、県税である事業税が高額であり減税すべきと考える。県の税収減については国庫から補填されるべき

待合室キャンペーン
こんな時に負担増?!
クイズハガキの取り組みはじまる

毎回好評の「クイズで考える私たちの医療」（クイズハガキ）の取り組みが今年も始まった。協会では、会員には10月に見本を送付。希望者には無料でクイズハガキ付きリーフレットとポケットティッシュを配布している。

前回も多数の会員医療機関から協力いただき、県内では2309通の応募があった。一言欄には「勉強になった」「待合室での時間が楽しくなった」などの感想や、「負担が重いため受診を控えている」などの切実な実態も寄せられた。

今回は、医療提供体制、患者負担増、歯科関連の3つの設問となっており、政府が推し進める患者負担増計画や、口腔環境と感染症予防などについてクイズを解きながら学べる内容になっている。

リーフレットはイラスト入りで分かりやすく、応募者には抽選で豪華な賞品が当たる楽しみもある。応募期限は来年3月8日まで。ぜひ待合室で活用いただきたい。

医院で回答済みハガキをとりまとめる場合は返信用封筒に入れて協会にお送りください。（直接ポストへ投函も可。切手代はかかりません）

つばさ

新型コロナウイルスの震源は中国の武漢。春節という中国の一大イベントに乗って世界中日本での流行に広まった。

は豪華客船の乗客がきっかけで始まった。日本でも新型コロナウイルスが猛威を振るい、日常生活が大きく変わり一年になろうとしている。何故日本で感染拡大を抑えられなかったのか残念でならない。私は、国が感染症に対する恐ろしさを見誤り、警戒感が薄かったこと、そして経済優先にしたことが拡大を招いた大きな原因だと思っている。島国の日本は、入り口を閉ざせば新型コロナウイルスの侵入を防ぐことができたのではないか？ 助成金を増やし3カ月自粛していたら、PCR検査を医師の権限でより多くできていたら、自粛明けの連休に人の移動がなければ、早期に夜の飲食・接待等を抑制し経営者に十分な補償をしていたら、GoToトラベルで感染源からの人の移動が無ければ、GoToイートで感染源に集まらなければ等、たらればを言えばきりがないが、私たちはみんな今の状況も、これからの展望も分かっていると思う。そんな中、安倍総理の引退表明とともに森、掛、桜など引っくるめて自民党は首相交代をして国民の目を本当に大切なことからそらすことに成功したように思う。何が本当か判らないが情報を整理し正しい判断をできる時代。自分をしっかり保ちたいと思う。（H）